

手書きマップと地元ゆかりの偉人キャラクターづくり で挑む地域活性化プロジェクト



キーワード

焼津市、地域資源、文化財、地域活性化

○プロジェクト内容

令和4年度地域交流・連携推進事業として、外国语学部、造形学部の学生たちとともに、焼津市浜当目地区の活性化を目的とした手書き散策マップとPV動画、市ゆかりの偉人キャラクターパネルづくりを行っています。外国语学部の学生たちは手書きマップとPV動画、造形学部の学生たちは市ゆかりのキャラクターのデザインをそれぞれ担当し、学生同士連携をとりながらプロジェクトを進めています。ポストコロナ時代のインバウンドを視野に、PV動画は英語版の作成も予定しています。

○取り組んだきっかけ

このプロジェクトに取り組んだきっかけは、浜当目にある原田家住宅が、焼津市初の登録有形文化財に指定され、古民家カフェ(toiro cafe)として整備されたことです。住宅の指定管理者であるスタジオプレアデスのスタッフとのミーティングの中で、toiro cafeが浜当目における「まちのステーション」のような存在になればよいというお話が出た時、浜当目の散策マップやPV、焼津ゆかりのキャラクターパネルなどを学生たちと作ってカフェで活用したらどうだろうという構想が湧きました。

→
プロジェクト始動の
浜当目現地視察



○プロジェクトへの取り組み

現在10名の学生がこのプロジェクトに参加し、マップ作り、PV作り、キャラクターパネル作りを進めています。マップ・PV班は、地元の人たちと交流しながら、自分たちの足で現地を歩いて得た情報を元に、浜当目の魅力を発信できるオリジナリティあふれるマップ、動画づくりに取り組んでいます。また、キャラクターデザイン班は、市ゆかりの人物として「日本武尊」と「小泉八雲」を選定し、実際の人物像をデザインに投影しつつ、独自のセンスで時代のニーズにあったキャラクターパネルを考案中です。

○期待される効果

今、町おこしや観光客誘致の観点からみた地域の活性化に求められていることは、お金をかけて新しいスポットをつくることではなく、既存の地域資源を、時代の中で埋もれさせず、後世に語り継いでいくために活用することではないでしょうか。食、風景、歴史、文学、記憶など、どんな地域にもその土地ならではの魅力ある資源が必ず存在します。学生たちが今回のプロジェクトをとおして地域の資源とは如何なるものかについて学び、地元静岡の魅力を彼らの感覚で発見してもらたら非常にうれしいです。学生たちが力を合わせてつくり上げたマップ、PV、キャラクターパネルが焼津の魅力を発信する大きな力になることを期待します。

←
焼津市歴史民俗資料館
の学芸員さんに登録有形
文化財原田家住宅の説明
を聞く



←
焼津市駅前商店街の
PLAY BALL! Cafe
でのワークショップ

→
現地で収集した情報も
もとにマップ作りミーティング



教員名 那須野絢子

所属学部・学科 外国語学部英米語学科

職位 助教

連携先

登録有形文化財原田家住宅
焼津市歴史民俗資料館
焼津小泉八雲記念館